

串本藥師堂記

林貞助之調查

串 本

藥 師 堂 記

昭和二十八年六月十七日

林 貞助 調査記

藥師如來記 串本藥師堂

昭和廿八年六月十七日調

林 貞助

(1) 子安地藏尊

立木像

青赤色

高さ八寸

台五寸

阿弥陀如來

座木像

赤泥色

高さ八寸

台五寸

藥師如來

座木像

黒金泥色

高さ一尺二寸

台一寸

觀音菩薩

立木像

金泥色

高さ八寸

(2) 寒川村串本字堂ノ前統二六九番地鎮座

開基 天正四年正月八日

南光山藥師寺

開山

鎮林和尚

三百七十七年前 昭和廿八年調

(3) 卷物一卷

天明壬寅星六月改焉（壹百七拾一年前）

昭和二十八年調

肥後佐賀 泰長院 守英書

(4) 祠堂建築

間口三間半 奥行二間半 高さ六尺 櫺木造

安政二年卯二年正月 九十九年前 昭和廿八年調

堂守 伊藤作右衛門 世話人 小川留右衛門

小川仲助

小川理右衛門

佐々木傳次

清滝申之助

(5) 奉立

小力本村浪人[?]

大工棟梁

小川 定

脇 熊の川

藤十郎

村役人

庄屋

小川源三郎

肝入

平野若太郎

先庄屋

中納長兵衛

(6) 納札

寛政四年みづ^壬の江のね^子正月 壹百六十一年前 昭和二十八年調

納入 串本 藤六

(7) 什物

一、巻物 壹巻 一、六九六字 巾一尺丈一丈三尺五寸

一、法文判 壹個

一、法宝[?] 印 壹個

- 一、肉壺 壺個
- 一、丸鏡 壺個
- 一、花瓶 壺個
- 一、鰐口 三個

(8) 祭日 旧正月八日 現在新曆一月八日 …… 昭和五十四年 林松寺の回答

元持仏主 泰司者

巻物 鍵 法印保管

下 村 伊藤恒三郎

壇徒 串本 上村 本村 初湯口 下村

八十八戸

祭典 奉仕

串本 区長

串本 四名 毎年順番に四人交代

(9) 祠堂

一、祠 間口三尺五寸 奥行二尺五寸 高さ六尺

一、堂 間口四間半 奥行四間

但し木造 杉皮葺

(10) 祭典行事

當番四人の方は七日の日に山に入り、人指より母指大位太さの黒もじの木を採取し来り、長さ壹尺五寸に切断したる棒を、約貳百本位を用意す。是を「ゴーギ」と称す。

八日當日一般の参拝あり午後貳時より祭式

——現在 は 新正月 八日 昭五・四六

佛前に供物び花を献じ、川上村笠松林松寺 禪宗 住職によつて読経 卷物の祈祷文及般若心經を三回誦するとき「羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧羯諦 菩提薩波詞般若心經」と三回唱る間に、

数十人の人、御「ゴーギ」を持ちて、之にて堂の柱や貫を叩くと、其の「ゴーギ」の先端は縦に炸裂する。此裂目に法紙を挿み、各戸に一對づつ渡す。里人は苗代に立てゝ虫除けとしてい

る。式が終ると餅に少量の大根の輪切及干柿を撒く。昔より串本のバチバチ「ゴーギ」を叩く音祭と唱てゐる。

御祈祷卷物巾一尺 長さ一丈三尺五寸 一、六九六字

佛功徳海難盡讃揚

娑婆世界南瞻部州大日本國紀伊州日高郡河上寒川之庄串本懸南光山藥徳禪寺
天正啓祚四序循環之初正月初八日就千宝殿看誦毘盧法王大藏金文佛説阿彌
陀經大悲円満無碍神咒消災妙吉祥神咒所集功德回向眞如實際莊嚴無上佛果菩
提本師釋迦如來大和尚東方藥師瑠璃光如來南方宝生如來西方無量壽如來北
方微妙身如來中央大日如來大慈悲父広大靈感觀世音菩薩得大勢至菩薩滿願虞
空藏菩薩地藏願王菩薩當來下生弥勒尊佛及十方三世一切諸佛尊菩薩摩訶薩
祝獻大尊功德尊天大辨才尊天大梵尊天摩醯口羅尊天帝釈尊天東方持國天王
南方增長天天王西方広目天王北方多聞天王金剛密迹尊天散脂大將尊天菩提樹
神尊堅牢地神尊天三州護法韋駄尊天摩利支尊日月両宮天子南北二斗星君
護法諸天大權眞宰地界旻府一切靈明三界万靈水界龍王一切靈神方至聖
今
年歲分主執陰陽權衡造化賞善罰惡一切聰明南方火徳星君火部聖衆現前
各各一衆大小檀那本命元辰吉凶照臨乾象守護伽藍土地護法明王三界忝十
方無極玄造日本國伊勢神明天照皇大神宮八幡大菩薩賀茂上下大明神松尾
大明神平野大明神稻荷大明神春日大明神神日吉山王祇園牛頭天王當國日前
國懸両太神宮熊野三所大權現當庄鎮守丹生四所大明神柳大明神天満大自在天

神御靈^{ミリン}八所大明神愛徳山両所大權現

五畿内五箇国

山城国八郡之内

糾須^{タダス}大明神

大和国十五郡之内

金峰山^{キンフザン}金剛藏王三十所^{コンゴウサワラ}

河内国十五郡之内

子守勝手^{コモリカッテ}大明神

泉和国三国之内

恩智^{オンチ}大明神

摂津国十三郡之内

大鳥^{オトリ}大明神

東海道十五箇国

伊賀国四郡之内

敢国^{カンコク}大明神

伊勢国十八郡之内

月読^{ツキヨミ}日読^{ヒヨミ}稻毫^{イナゲ}等^{トウ}大明神

志摩国二郡之内

粟島^{アフシマ}大明神

尾張国八郡之内

熱田^{アツタ}大明神

三河国八郡之内

砥鹿^{トジカ}大明神

遠江^{トヲミ}国十四郡之内

安本^{ヤスモト}大明神

駿河^{スルガ}国七郡之内

富士^{フジ}浅間^{センゲン}大權現

伊豆国三郡之内

三島^{ミシマ}大明神

北 陸 道 七 箇 国	出	陸 ^ム	信 ^{シノ}	下 ^{シモ}	上 ^{コウ}	飛 ^ヒ	美 ^ミ	近 ^ミ	東 山 道 八 箇 国	下 ^{シモ}	常 ^ヒ	上 ^カ	安	武	相	甲	
	張	奥 ^ツ	野 ^ノ	野 ^{ツケ}	野 ^{ツケ}	彈 ^ダ	濃	江 ^ミ		総 ^{ツケ}	陸 ^{タチ}	総 ^{ズサ}	房	藏	模	斐	
	国	国	国	国	国	国	国	国		国	国	国	国	国	国	国	国
	十	五	十	九	十	四	十	十		十	十	十	四	廿	八	四	
	二	十	郡	郡	四	郡	八	三		二	壹	一	郡	四	郡	郡	
	郡	四	之	之	郡	之	郡	郡		郡	郡	郡	之	郡	之	之	
	之	郡	内	内	之	内	之	内		之	之	之	内	之	内	内	
	内	之			内		内	内		内	内	内		内			
	内																
	国																
月 ^{ツキノ} 山 ^{ヤマ}	志 ^シ	諏 ^ス	二 ^{フタ}	赤 ^{アカ}	水 ^{ミヅ}	中 ^{ナカ}	建 ^{タテ}	香 ^カ 鹿 ^カ 玉 ^{タマ} 安 ^ア 氷 ^ヒ 寒 ^{サムイ} 物 ^{モノ}		香 ^カ	鹿 ^カ	玉 ^{タマ}	安 ^ア	氷 ^ヒ	寒 ^{サムイ}	物 ^{モノ}	
	波 ^ハ	訪 ^フ	荒 ^{アラ}	城 ^キ	無 ^ナ	山 ^{ヤマ}	部 ^ベ			取 ^{トリ}	島 ^{ジマ}	前 ^{ゼキ}	房 ^フ	川 ^{カハ}	川 ^{カハ}	部 ^ベ	
	彦 ^{ヒコ}	戸 ^ト	山 ^{ヤマ}	大 ^{オホ}	大 ^{オホ}	金 ^{カナ}	兵 ^{ヒヨウ}			老 ^{オイ}	筑 ^{ツク}	大 ^{オホ}	坐 ^ザ	金 ^チ	有 ^{アリ}	大 ^{オホ}	
	大 ^{オホ}	隱 ^{カクシ}	大 ^{オホ}	明 ^{メイ}	明 ^{メイ}	山 ^{ヤマ}	主 ^{ヌス}			尾 ^ヲ	波 ^ハ	明 ^{メイ}	大 ^{オホ}	佐 ^サ	鹿 ^{シカ}	明 ^{メイ}	
	明 ^{メイ}	大 ^{オホ}	明 ^{メイ}	神 ^{カミ}	神 ^{カミ}	彦 ^{ヒコ}	大 ^{オホ}			大 ^{オホ}	大 ^{オホ}	神 ^{カミ}	明 ^{メイ}	奈 ^ナ	大 ^{オホ}	神 ^{カミ}	
	神 ^{カミ}	神 ^{カミ}	神 ^{カミ}		神 ^{カミ}	彦 ^{ヒコ}	大 ^{オホ}			明 ^{メイ}	明 ^{メイ}		神 ^{カミ}	大 ^{オホ}	明 ^{メイ}	神 ^{カミ}	
		神 ^{カミ}	神 ^{カミ}			大 ^{オホ}	明 ^{メイ}			神 ^{カミ}	神 ^{カミ}			明 ^{メイ}	神 ^{カミ}		
						明 ^{メイ}	神 ^{カミ}							神 ^{カミ}			

[illegible]

筑		土	伊	讃	阿	淡	紀		長	周	ス	安	備	備	備	美	播
前		佐	豫	岐	波	路	伊		門	防	ヲ	藝	後	中	前	作	磨
国	西	国	国	国	国	国	国	南	国	国	国	国	国	国	国	国	国
十	国	七	十	十	九	九	七	海	六	六	八	十	九	十	七	十	
五	道	郡	四	一	郡	郡	郡	道	郡	郡	郡	四	郡	一	郡	四	
郡	九	之	郡	郡	之	之	之	六	之	之	之	郡	之	郡	之	郡	
之	箇	内	之	内	内	内	内	箇	内	内	内	之	内	内	内	内	
内	国							国				内					
筑		室	大	田	大	大	大		住	玉	速	賀	吉	安	中	中	
紫		津	山	村	麻	和	小		吉	祖	谷	武	備	仁	山	臣	
小		都	積	栗	比	国	福		荒	御	伊	奈	津	大	高	印	
竈		佐	大	井	古	魂	德		御	坂	都	備	大	明	野	達	
門		坐	明	等	大	大	一		魂	等	伎	大	明	神	等	大	
大		大	神	大	明	明	切		大	大	島	明	神		大	明	
明		明		明	神	神	神		明	明	大	神			明	神	
神		神		神			祇		神	神	明	神			神		
											神						

筑後國十郡之内
豐前國八郡之内
豐後國八郡之内
肥前國十一郡之内
肥後國十四郡之内
日向國五郡之内
大隅國八郡之内
薩摩國四郡之内
壹岐國二郡之内
對馬國二郡之内

高良玉垂命
宇佐八幡大菩薩
宇奈岐日女大明神
田島坐淀姫女大明神
阿蘇比咩大明神
江田霧島等大明神
鹿兒島大明神
枚聞大明神
月讀中津大明神
和多津美大明神
和

惣日本國內六十余州 大小福德一切神祇
靈既伏願 佛運延洪法輪轉皇基鞏固仁澤普霑五穀豐登萬民和樂國土昇平災難
消除專祈當懸檀那道業純眞家門吉利次翼
慧現前菩提心不退四恩摠拔三有偏資法界益識同円種智
十方三世一切諸佛諸尊菩薩摩訶薩摩訶般若波羅密

豈 天明 二年壬寅 星六月

備前佐嘉泰長院

守英書

串本村神主

伊藤作右衛門

改之

この原本は寒川村の人林貞助氏が、同地薬師堂を調査記録の上、一本にまとめたものである。薬師堂の祭は古来串本のパチパチ祭りと言われ、近在に聞こえていた。一寸この附近では類の少ないものである。民俗学的に調べて見ると色々興味ある事が発見されようが、今はその暇を見出し難く、ただ寫し置くにとどめる。

昭和三十一年五月廿日夜

公社宿直室にて

清水 長一郎

『串本薬師堂記』のワープロ化を終わって

『美山村史』資料編によると、串本薬師堂祈禱文は二通あり、一通は天正四（一五七八）年のもの、もう一通は天明二（一七八二）年に書き改めたものと云う。保存状態が良く『美山村史』資料編に新旧両方の比較写真と全文が記載されている。今回林貞助氏が昭和二十八年に調査記し、父が筆写しているのは、天明二年に書き改めたものである。

今回のようにパソコンに入力しながら、ヒョットして昭和五十年代から平成初期にかけて刊行された市町村史誌を調べると、父が筆写した資料が載っている事が多い。読む以上に書くこと、パソコンに入力は記憶に残って良いが、時間の無駄である。事前によく調べなければと思う。

平成十八（二〇〇六）十一月一日

清水 章博